

平成27年度
愛臨技精度管理調査報告
生理検査部門

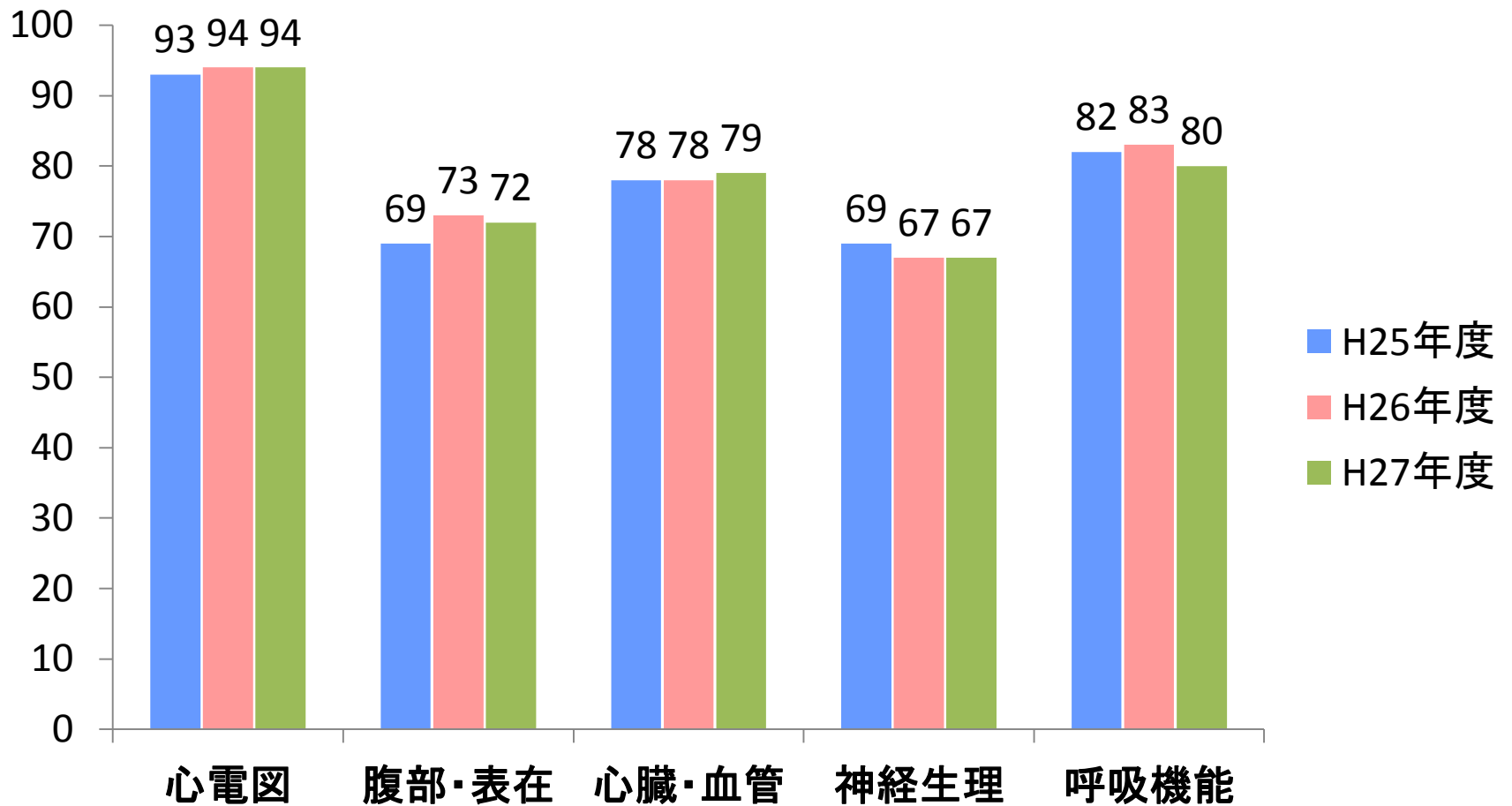
JCHO中京病院
加藤 鮎美

精度管理調査方法

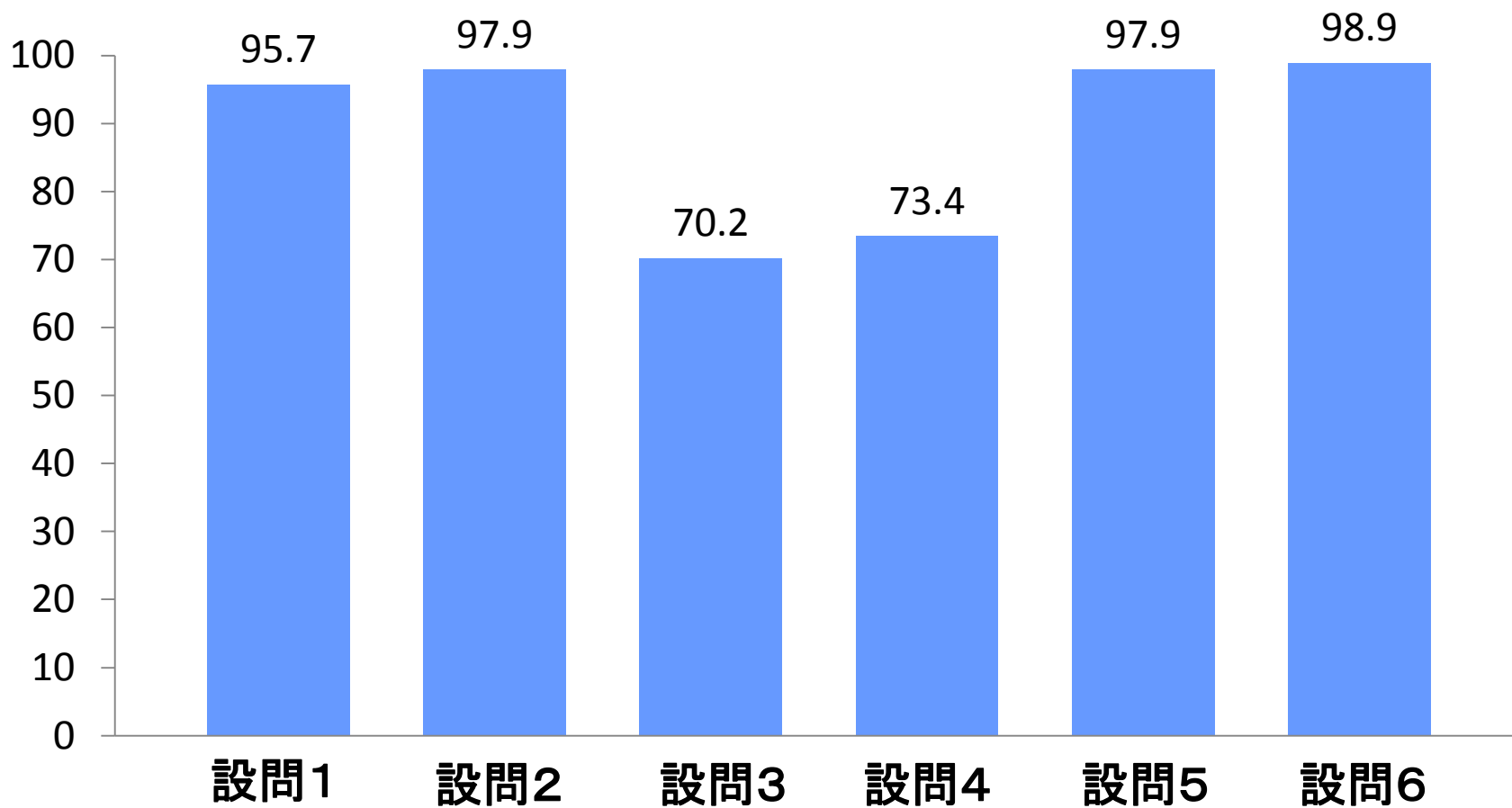
実施分野	評価対象設問	評価対象外設問
心電図検査	設問1～6(6問)	
腹部・表在超音波検査	設問1～5(5問)	
心臓・血管超音波検査	設問1～5(5問)	
神経生理検査	設問1～5(5問)	設問6(1問)
呼吸機能検査	設問1～5(5問)	

- 評価対象設問: 基本的な知識や手技に関する設問
- 評価対象外設問: 教育的な内容についての設問
- 腹部・表在超音波、心臓・血管超音波では動画による設問を出題した
- 評価方法: 正解; A 不正解; C

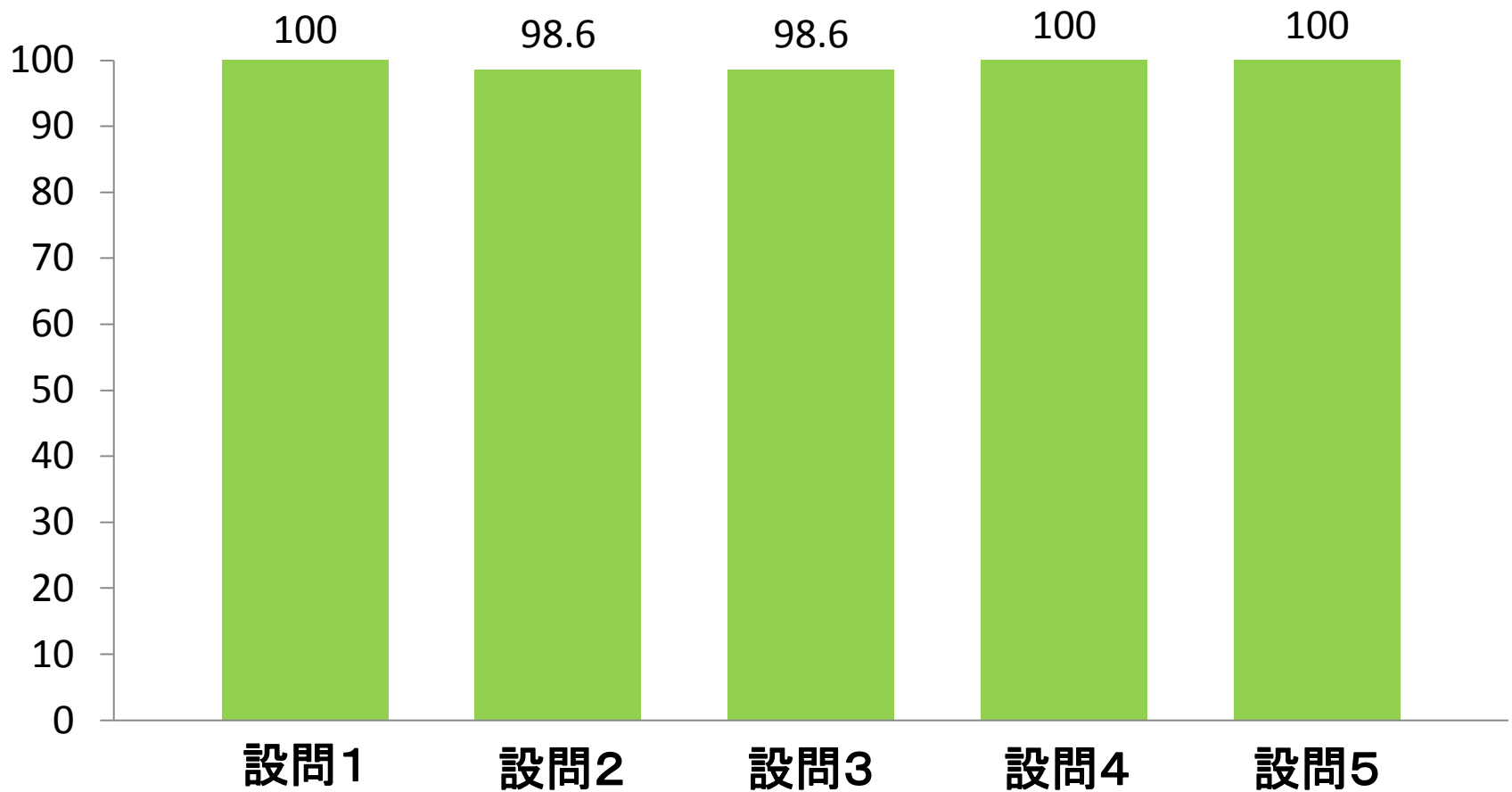
参加施設数



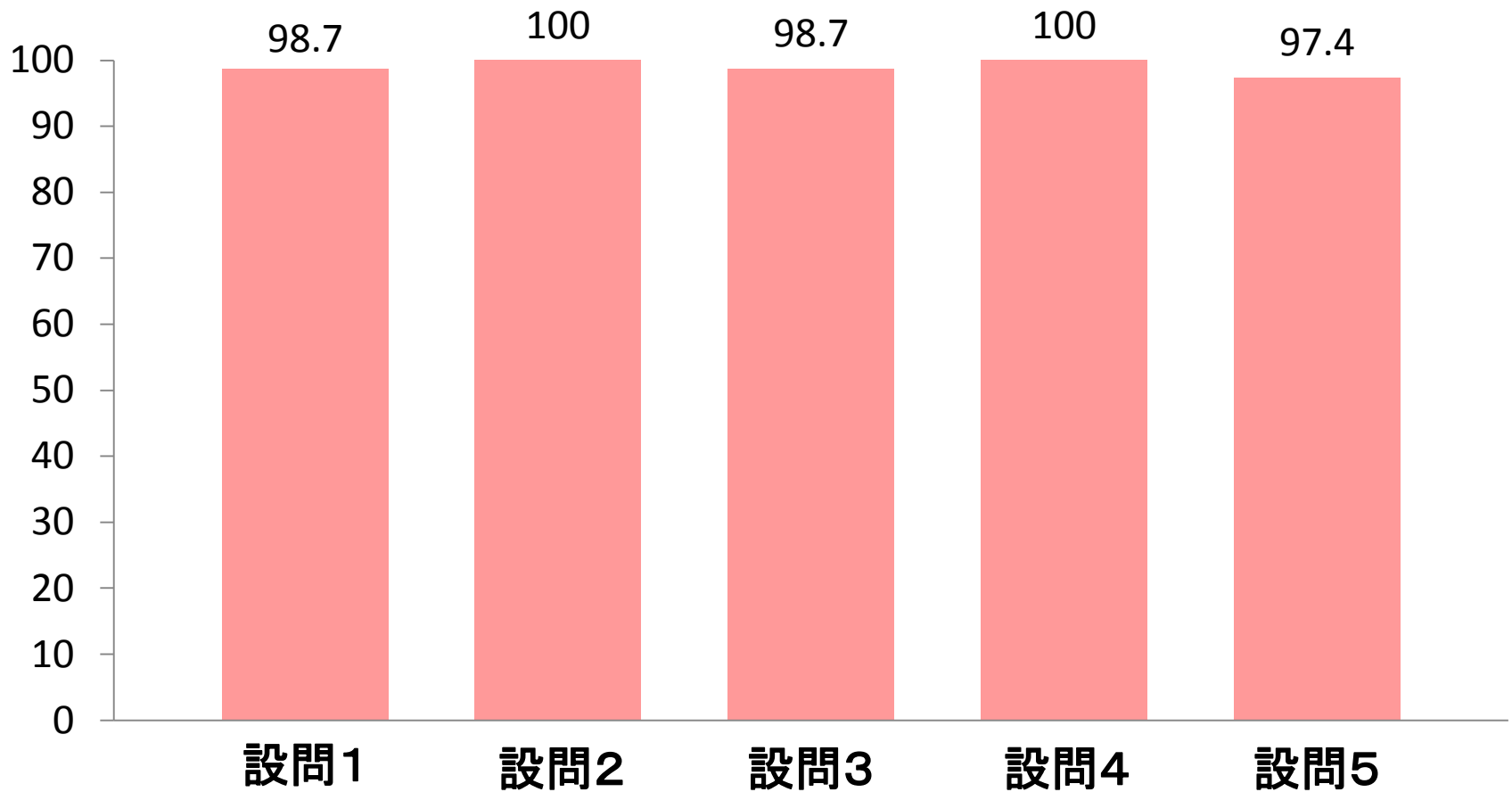
正解率(心電図)



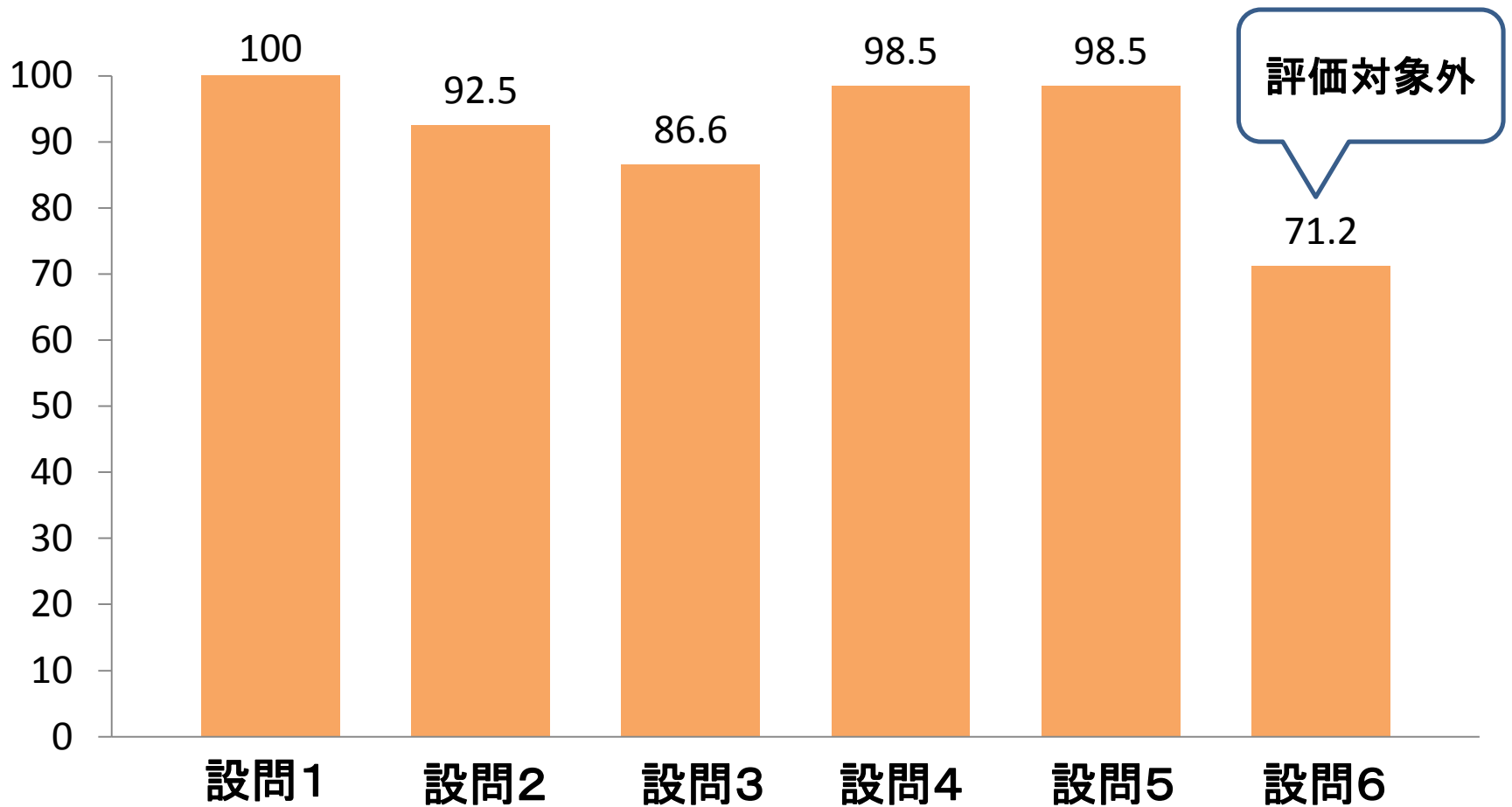
正解率(腹部・表在超音波)



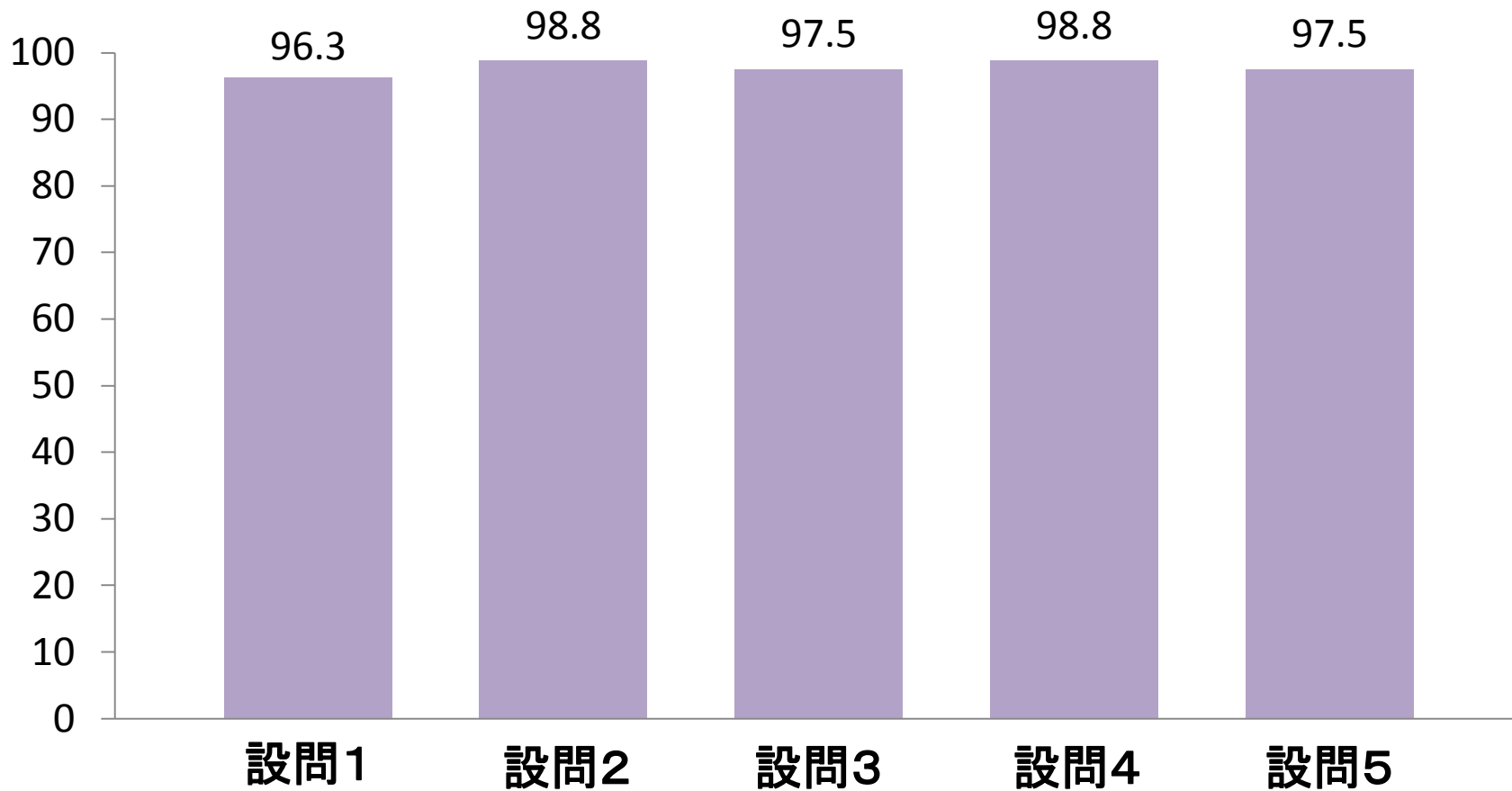
正解率(心臓・血管超音波)



正解率(神経生理)



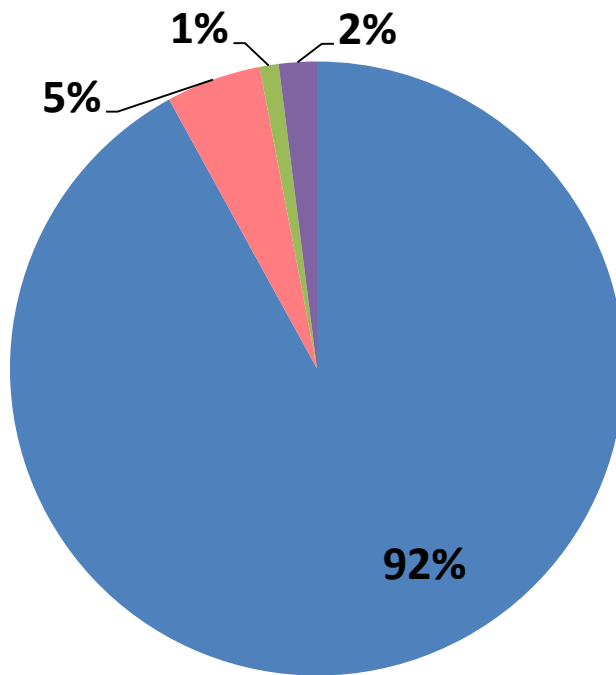
正解率(呼吸機能)



評価対象設問

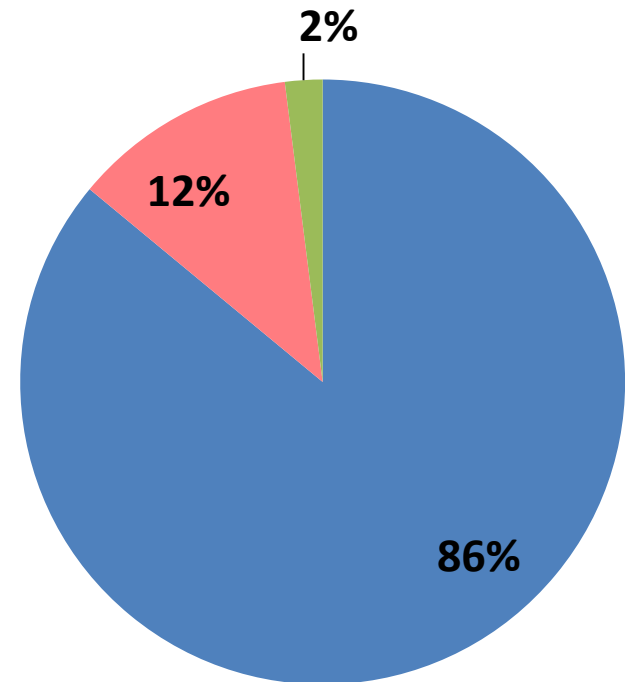
設問量

■ 適切である ■ 多い
■ 少ない ■ 未回答



難易度

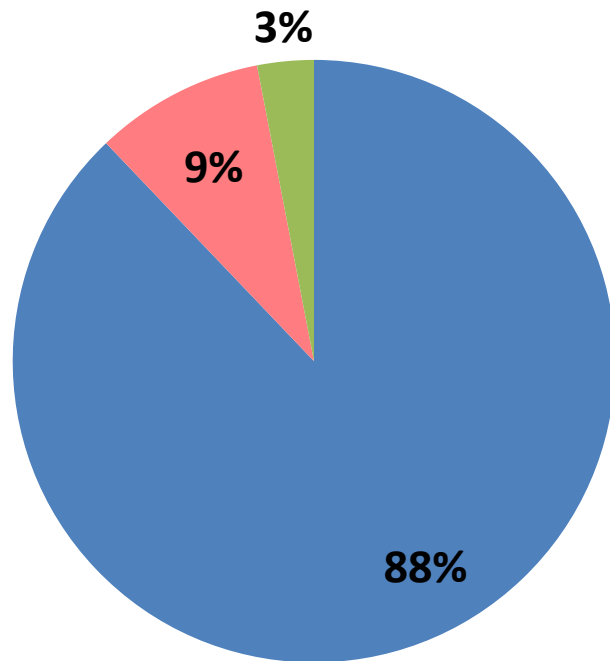
■ 適切である ■ 難解である
■ 未回答



評価対象設問

内容

- 適切である
- 不適切だと感じる項目がある
- 未回答

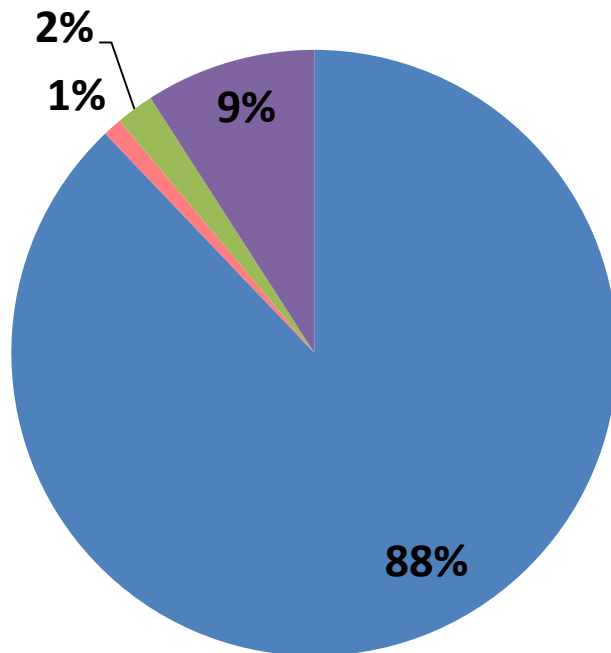


- もう少し臨床所見があったほうが選択しやすい設問があった。
- 回答が複数考えられる設問がある。

評価対象外設問

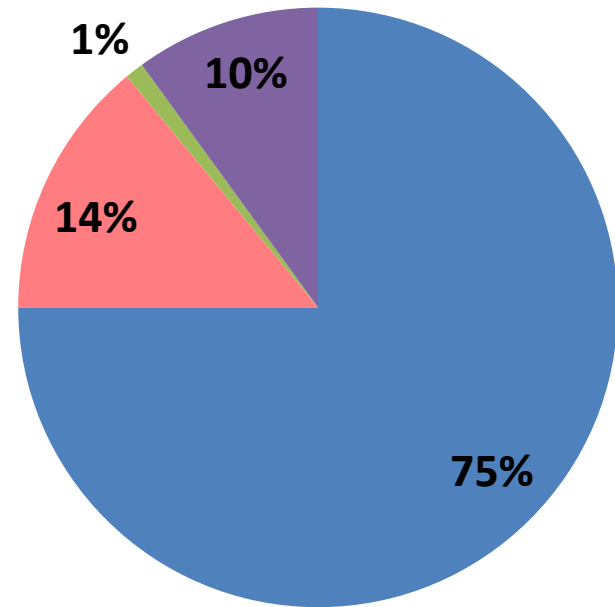
設問量

■ 適切である ■ 多い
■ 少ない ■ 未回答



難易度

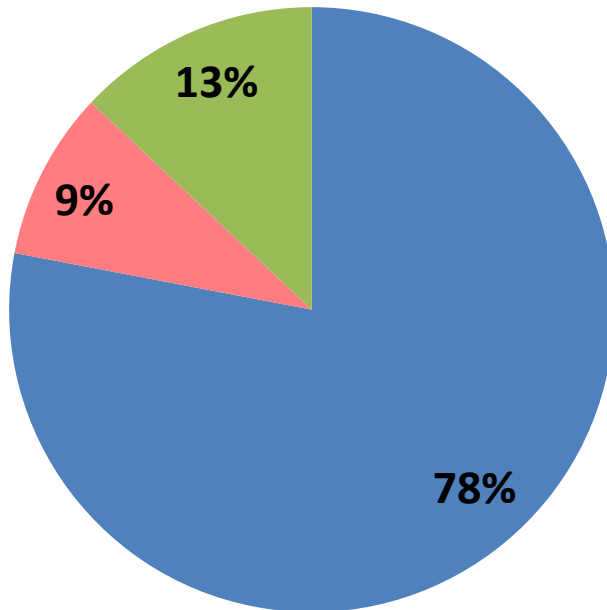
■ 適切である ■ 難解である
■ 容易である ■ 未回答



評価対象外設問

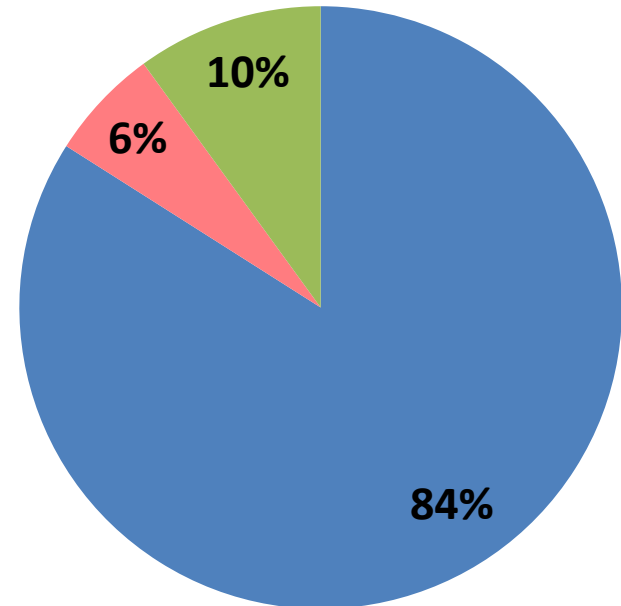
必要性

- 必要である
- 不必要である
- 未回答



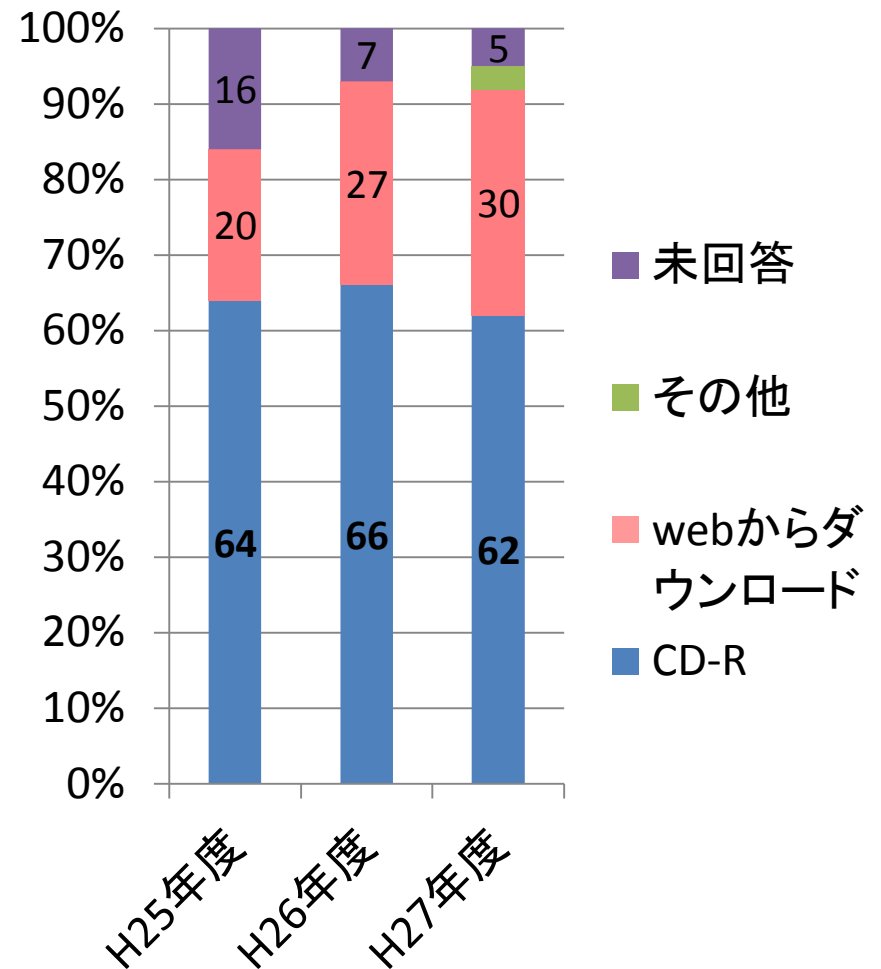
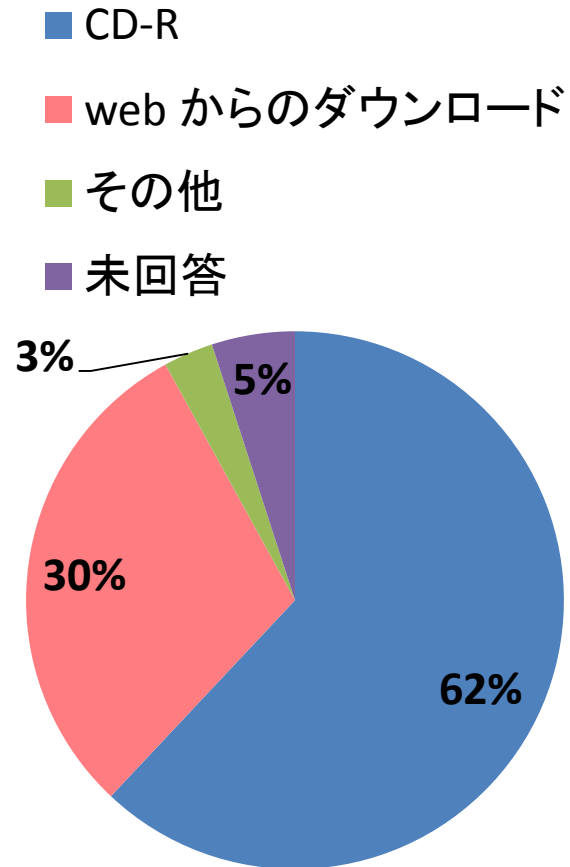
内容

- 適切である
- 不適切と感じる項目がある
- 未回答



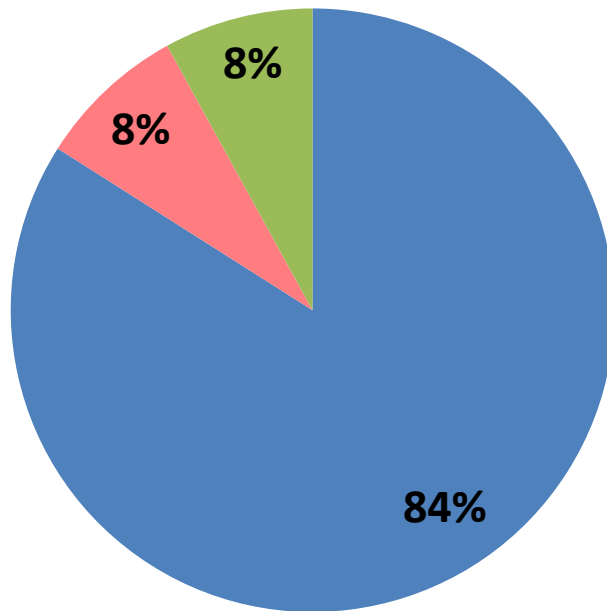
動画について

動画媒体



解答選択肢『未実施』について

■ 必要である ■ 不必要である
■ 未回答



- 超音波検査の項目によっては、放射線技師が行っているが、不参加または未実施はどうすればよいか。



例：心臓・血管超音波

①心臓エコー：検査技師

頸動脈エコー：放射線技師

→頸動脈エコー『未実施』

②心臓・頸動脈エコー：放射線技師

→不参加

まとめ

- 正解率は心電図検査 設問3・4で70%台とやや低い結果となったが、そのほかの設問は良好な正解率であった。
- 動画の媒体で適切だと思うものは、CD-Rは62%、webからのダウンロードは30%で今年度もCD-Rのほうが多い結果となったが、webからのダウンロードを希望する施設が徐々に増えてきていることが分かった。
- 解答の空欄をなくすため「未実施」を追加したが、必要と答えた施設は84%、不要と答えた施設は8%であり、今回の対応は有効と考えられた。
- 今後も参加施設の技師の技量や知識の向上に役立てていただけるよう、設問の出題の仕方を工夫をしていきたい。